



## 舟橋村エリアマネジメント勉強会

### 2020年12月までの成果

ICT登録数約250人、担い手約10人とコミュニティ成熟期に入りつつある

ICTアプリ登録数

約250人

アクティブ担い手数

10人

イベント累計数

66回※

イベント参加累計数

766人※

※2019年4月～2020年11月累計数



## 舟橋村エリアマネジメント勉強会

### AsMamaとして、このプロジェクトを通して、得たいもの

地方部における、コミュニティ形成・担い手発掘育成の、横展開可能なスキームづくり

**これまで**：能動的な担い手を創出し、自立自走できるコミュニティを形成する。

**これから**：少しでも舟橋村の取り組みに関わりたい、何かしたいという人への伴走支援。  
「つながりあいの、きっかけづくりができる人＝舟橋型人材」の発掘育成

コミュニティの担い手の発掘・育成は、地域性やそこに住む人たちの特性等にに応じた対応が必要。特に、人口の少ない地方部では、少数のとがった人材・内容のコミュニティではなく多くの人があるやかにつながることが重要。また、目立つことやリーダーシップを敬遠しがちな傾向も考慮。

⇒やや受動的、できる範囲で応援する「応援団」的なライト層の発掘、関与を促す  
たとえば、、アクティブシニア、スモールビジネスをはじめたい人、学生  
ちょっとお手伝いしてみたい人 など多様な方々

## 舟橋村エリアマネジメント勉強会

### 3行コンセプト（次の5か年で目指す事業概要）

- 登録数約250と成熟期に入りつつあるICTを活用し、各団体や住人、企業の様々な取組の可視化。自分の居心地のよい場所や取組み、人にであえるプラットフォーム形成
- 「スキマ時間にお手伝いしていいよ」というライトな方から、経済的自立を目指したプチ起業家まで、各人のやりたいことに応じた階層的支援と、それによる舟橋型人財、団体の育成
- ライフステージにかかわらず、やりたいことがかなえられる、多様な居心地のよいコミュニティ形成を舟橋型人財が実現していくまでの活動支援、伴走